

(テーマ) ニホンミツバチ分蜂捕獲準備

中部 日本みつばちの会

20230125改訂 望月 建彦

最重要

激減しているニホンミツバチは4月～5月にかけて桜等の咲く流蜜季に分蜂(巣別れ)する。

これを捕獲するポイントは

- ①分蜂群の兆候をとらえ分蜂板で捕獲し巣箱に入れる。
- ②生抜き巣箱を蜜蝋塗布等で蜂の好む巣箱で逃去を避ける。
- ③留守時は巣箱にキノコウヘン等を付け誘引し捕獲確立を上げる。

分蜂捕獲の考え方(蜂群がいる場所)

【前提条件】 分蜂の時期 4~6月で廻りにニホンミツバチがいること

誘引される前に分蜂板捕獲が確実です

分蜂捕獲の3要素

分蜂板に分蜂球を作るその後、誘引巣箱に

① 巣箱

- 【ミツバチが好む巣箱調整】
- ・ 古材を使用した箱
 - ・ ミツバチが住んでいた箱
 - ・ 内部は焦げ臭い匂いがない
 - ・ 天板部から光が入らない
 - ・ メントールは入れない

古巣箱ば誘引剤が無くても入居

② 誘引剤

- 【誘引剤の使用法】
- ・ 内面等に蜜蝋で匂づけ
 - ・ 誘引液を噴霧する
 - ・ 巣門外にキンヨウヘンの花orルアーを付ける

巣箱に蜜蝋等を塗ると他の虫等が入る。注意(ムカデ、蜘蛛)

③ 置き場

- 【ミツバチの好む場所】
- ・ 分蜂元巣がある場所
 - ・ 山の高台、斜面
 - ・ 川の堰堤・護岸
 - ・ サクラ等の大木の下
 - ・ 建物の影

設置は蜂の通り道

分蜂捕獲

分蜂板捕獲したら

or

誘引箱捕獲したら

1. 分蜂板に分蜂球を作ったら20～30分後準備した巣箱に入れる。
2. 即、女王逃去防止を付ける。
(ハチマイター)
3. 元巣から数100m～1km離す。

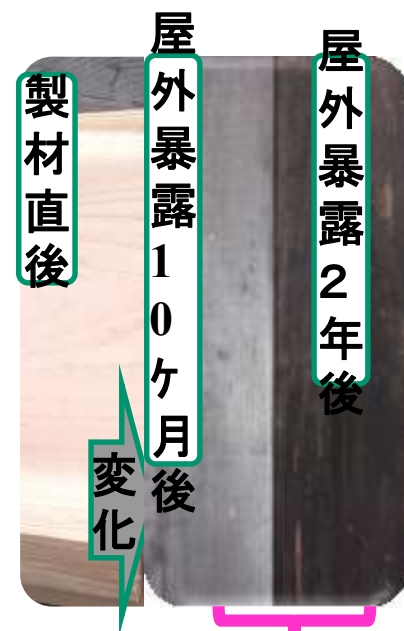
1. 誘引され巣箱に入ったら夜or早朝に巣箱を飼育場所に移す。
2. 同じ場所に別の空巣箱と誘引剤を仕掛ける。再度分蜂すると又入る。
3. キンヨウハン等に蜂が固まっていたら巣箱に問題あり。無理に入れても逃去する為古い箱に変える。

【まとめ】 分蜂群を捕獲出来たら→その日のうちに巣箱を元巣から100m以上離れた場所に移す。その理由は、同じ場所では蜜が少なく生活できない。次の分蜂が起こると同群なので一緒に分蜂して箱から出ていく。当会では定着を確実にするため1km以上離し薄暗い所で定着をさせるのが望ましい。分蜂終了後1km以上離れた群は同敷地に戻すことは可能です。

巣箱の(待ち箱)基本

中部 日本みつばちの会が分蜂群を新人にどんな巣箱にも入れて渡すということを10年間実施して判ったノウハウです。
* 箱が気に入らなければ誘引剤があっても逃げていく！

- ・ これまで使用の古巣箱（蜂臭で誘引する）
- ・ 雨ざらしの生抜き巣箱が良い（素材の臭いが無い）
- ・ 箱内部は黒色が良い(焼け焦げた臭さが抜けるまで洗う)
- ・ 分蜂の1週間前に匂い付けに蜜蝋や誘引液を内外に塗る。
- ・ 天板付近は光が入らない様に布ガムテープ張りすること
- ・ 箱内部は樹脂等を使用しない光の反射が無い。
- ・ メントールは使わない。(定着後2週間後に使用)



こんな色の巣箱は蜂が喜んではいない

分蜂捕獲巣箱の調整

1. 生抜きした巣箱 又は旧巣箱
2. 誘引液: 蜜蝋、蜜蝋溶解時の水溶液10倍希釈使用を内外面に噴霧(注意: 塗過ぎると他虫も誘引する)
3. 巣箱に誘引剤 キンリョウヘン又は人工ルアー(キンリョウヘンがない時に使用する)を併用する



天下無敵調整

誘引剤
キンリョウヘン
他
誘引液
を塗布



送いた
キンリョウ

送いた
キンリョウ

分蜂捕獲板とは



【分蜂捕獲板の目的】

ニホンミツバチは分蜂を開始すると近くの梅・サクラ等の樹皮に分蜂球を作る。その後、住処を探し巣箱や床下、屋根裏等に永住の巣を作る。近に分蜂捕獲板を吊るし分蜂球をとまらせ巣箱に入れやすくする。

分蜂の予測(名古屋1例)

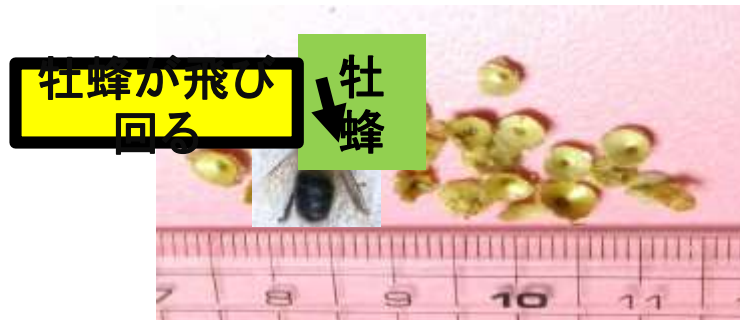
NO	巣箱の状況	写真	期間(週)							分蜂予測コメント	
			1	2	3	4	5	6	7		
1	最初の牡蓋が出る	○		→	→	→					約3~4週間
2	牡蜂が多数舞う	○		→	→						10日前後
3	王台が出来る	○		→	→						産卵~15日後 王蓋が黒くなって数日
4	数千が飛回り巣門を出る	○			→	→					即ですが気候で左右する
5	第一分蜂	○			→						
6	第二分蜂				→						第一分蜂後数日
7	第三分蜂				→						第二分蜂後数日
8	分蜂の終了				→	→	→	→	→	終了	第一分蜂から約2週間

* 分蜂は、風のない・暖かい・天気の良い時の10~14:00の間
にすることが多い。

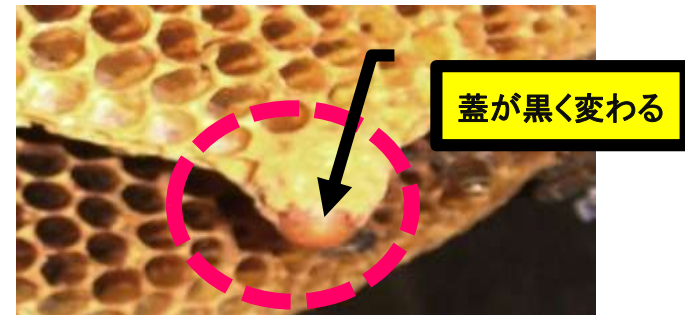
又、連続する分蜂は2~7日間を置いて起こり第一分蜂から
約2週間で終わる。

分蜂予測の仕方

① 牡蓋が巣門外に出る



② 王台が巣先端できる



③ 分蜂直前後巣箱巣門



④ 分蜂時の上空



分蜂群の分蜂球



自作分蜂捕獲板高さ1.5~2.0m



竹屋根高さ約2mへ



桶蓋用網戸の高さ約1m

住宅地では分蜂群は足がかりの良い、薄暗い場所に分蜂球を作る。捕獲し易い場所に分蜂捕獲板を吊し巣箱に入れる。

キンリョウヘンの待ち箱使用法

- キンリョウヘンの花の匂いにニホンミツバチは誘引される。
- 花が蜜を吸われると即萎れる為、**玉ねぎ袋に入れる**。萎れると蜜蜂は別のところに飛んでいく。
- 花が滑走路の巢門に来るようにセットする。
- 直接、雨や日光に当たらない様に巣箱上に屋根を作り簾をかける。
- **ルアー**はキンリョウヘンの花のない時期に使用する。



分蜂捕獲と定着写真

①捕獲板

匂い付けに蜜
ロウを塗布



②分蜂球



③巣箱に移す



④装着ハチマイッタ

ハチマイッタ





ニホンミツバチ分蜂の 優しい箱入れ法



20160626 中部日本みつばちの会 tatehiko



分蜂後の元巣

分蜂の取り込み↓



胡桃の木に止まった分蜂球



巣箱入れ後



蜜蜂は低い方から高い方に明るい方から暗い方向に移動する